

## 「蘇南モデル」と比較かるみる温州地方政府の役割

中国経済発展モデルの中で、「蘇南モデル」と「温州モデル」などが挙げられる。両方ともに高度成長を遂げ、中国特色的な経済開発である。しかし、資本主義経済の形成期の特徴は民間商人や企業家の主役的存在とともに、工業化と人口移動と都市化も同時進行などを意味しているなら、筆者は「温州モデル」が実際に中国特色的な経済開発ではなく、資本主義のやり方で経済開発に成功したと言えよう。経済活動の中で、様々な主体が存在しているが、誰が主役的存在というのは経済構造の特徴も極めて違う。主体は個人や企業および政府などそれぞれ挙げられる。「蘇南モデル」から見れば、郷鎮や村営企業が主役的存在であり、郷鎮政府または村民委員会は投資や企業責任者の選定を行っており、企業経営にも様々な面に深く干渉する。その意味で、行政が主導で経済開発型を進んでいると言えるであろう。嚴善平によれば、「蘇南モデル」の特徴は集団経済を主体とする地方政府主導型と指摘した。

それに対して、温州経済発展は市場調節的である。実質的には自由経済に近い状態にあると結論つけられよう<sup>1</sup>。「温州モデル」の経済活動の担い手は個人や企業家であり、民間企業を柱とする民間資本は温州経済の牽引車である。その意味において、私有経済を抜きにしては温州経済を語ることもできないであろう。以上を踏まえた上で、集団経済や公有制経済の「蘇南モデル」いわば中国一般の経済発展パターンに対して、「温州モデル」の持つ意味は大きいであろう。

なぜ、社会主義集団経済が主役的に存在している経済状況の中で温州が独特な方向で発展してきたのか。それは温州 1970 年代後半にかなり厳しかった客観的な初期条件であった。前回にも触れたが、当時大陸と台湾が敵状態であり、温州が台湾の対岸地域にたいしては、中央からの財政投資が極少なかった。そもそも、温州では国家投資の工業基盤が弱かったのである。国有企業が少ないことによって、逆に集権体制の下で様々な規制の影響も少ない面もあるが、さらに、山間部で耕地面積も少ないため、人々が生きるために集権体制と対抗しながら、必死に技を身につけ、活路を求めなければならない。農業以外の家庭手工業や外地での職人活動が同時「資本主義の尻尾」として強く取り締まれたけど、温州ではほとんど「地下」に潜り、絶え間なく展開してきた。ある意味で経済基盤が弱かったが、厳しい現実の中温州人は商業活動でお金を儲けるという意識が強かった。それに、外地で休まずに歩き回った職人たちの存在があり、彼らがあちらこちら回したため市場がなにが不足で、また何が求められているのかを誰より熟知していた。現在の温州商人も世界で飛びまわし、様々な有利な情報を地元へ伝達し商売をしている。いうまでもなく、商売というのは情報が極めて重要である。様々な情報を持っている職人たちが 1983 年、農民の商品流通への参加が制度的に認められた後、速やかに商品売買の商人へ転身した。即製品があれば、それを消費地に運ぶが、なければ自ら地元の人を組織し、家内工業を作らせて製品の生産を誘導する<sup>2</sup>。温州の農民たちはまずボタンなどあまり資金と技術がいらない簡単な製品の製造・販売からはじめ、次に特定品目の卸売市場を数多く形成し、企業と市場がセットになる形で地域経済を発展させる<sup>3</sup>。

<sup>1</sup> 嚴善平 『中国農村・農業経済の転換』勁草書房、1997、58 頁

<sup>2</sup> 同上、64 ページ

<sup>3</sup> 中国研究所編『中国年鑑』2006 年、404 頁

「蘇南モデル」を語る際、郷鎮政府や村民委員会が極めて大きな役割を果たしてきたことがよく知られている。それに対し「温州モデル」経済の成長過程の中で、市、県および区政府はどのような役割を果たしたか。地元の関係者の言葉を借りると、それは「無為而治」である。「無為而治」というのは政府が具体的な経済活動に介入しなかったことがかえって民間経済の急成長を助けたことである。

1980年代以降、市場経済の発達に伴い、既存のさまざまな法律や規制が完備してなかった。私営企業で8人以上の労働者が採用すること、土地使用権を販売すること、私的企業に株式制度の導入など、当時の関係法律によれば、すべて違反な行為となる。しかし、市政府から基層の行政機関まで、それらを黙って見守るか、地方規定を企業行為にあわせるか、関与せずの態度をとっていた。その結果、経済に活性化が現れ、積極的な役割を果たした場合が多かった。したがって、中央の党、政府は結局、温州での発展発展を肯定的に評価し、全国的な規模で承認し、企業の成長を奨励することになった。

参考文献；

巖善平『中国農村・農業経済の転換』勁草書房、1997年